

---

## 連載: 中国の生活は今

～北京・上海在住の中国人が中国の現状をレポートします～

# 中国における「オンライン学習産業」の成長

第一生命ホールディングス株式会社 北京駐在員事務所

---

## 1. はじめに

中国企業に勤める会社員の孫さんは、電車通勤の時間帯を利用して“職場プロジェクトB”と呼ばれるスマートフォンの音声アプリを利用し、業務スキル向上を目的としたオンライン講座を受講している。また、小学校3年生になる孫さんの娘も三国志に登場する人物を紹介するアプリで学習し、歴史への興味がわいてきた。今までは書籍を読む学習スタイルが一般的であったが、最近ではスマートフォンのアプリ利用が主となりつつある。

中国の市場調査コンサルティング会社の艾瑞咨询(i Research)の調査レポートによると、2017年の中国のオンライン学習産業の規模は49億人民元(約800億円)であり、2020年には235億人民元(約3,800億円)に達する見通しである。

## 2. 市場拡大の背景

中国のオンライン学習市場は、ここ2、3年間で急拡大しており、その主な要因は二つあると考えられる。一つは、各種技術の急速な発展に伴い、将来の職を脅かされるのではないかという不安を多くの人々が感じていることだ。人工知能(AI)やIoT等が浸透してきたことにより、人々の生活環境及び労働環境は大きく変化してきた。近年、様々な分野で自動化が導入されたことで、単純作業を中心に人の手を介する職や作業が少なくなっているのは事実である。この不安を少しでも取り除くために、多くの人々の学習意欲が高まったと考えられる。もう一つの要因は中国のITインフラ整備が進んだことにある。スマートフォンや電子決済の普及に加えインターネット利用料金の値下げ等も市場拡大を後押ししている。

## 3. 業界の現状

現在、中国のオンライン学習の関連商品を提供するプラットフォームは主に三つに分類される。一つ目は、独立型プラットフォームである。著名な講師が専用プラットフォームを作成し、独自の有料コンテンツを提供するものである。内容を充実させるために、他講師のコンテンツを提供することもあるようだ。二つ目は、提携型プラットフォームである。オーディオブックや音楽など無料でコンテンツを提供するプラットフォームが、ユーザーの満足度

を高めるために、有名な講師のコンテンツの提供も行なっている。三つ目は、モデルシフト型プラットフォームである。無料のソーシャルネットワークのサイトが、有料コンテンツの提供スキームを導入し、モデルシフトしたものである。ソーシャルネットワークがベースとなっていることから、講師や他ユーザーとコンテンツ等についてコミュニケーションをとることが可能である。

プラットフォームの分類	特徴&強み
独立型	知名度の高い講師が独自コンテンツを提供。一定の顧客基盤が出来ている。
提携型	従来のオーディオ関連商品だけではなく、コンテンツの多様化を推進。
モデルシフト型	ソーシャルネットワークを活かし、コンテンツ提供者や利用者同士のコミュニケーションが取れる。

(資料) 各種資料より筆者作成

#### 4. 業界の課題と将来性

中国における「オンライン学習産業」の課題と将来性について考察してみる。まず問題点としてあげられるのは、知的財産権についてだ。コンテンツの著作権を有する著者が、業界の慣習として販売プラットフォームへ限定的な使用許可しか与えていないにも関わらず、プラットフォーム運営者側が、二次利用権や譲渡権を主張する等、意見の相違が絶えない。業界の発展に向けた各種ルールの整備が求められている。

また、大型プラットフォームによる業界の寡占化が急速に進み、新規参入の障壁が高まるのが危惧される。オンライン学習産業は、将来の成長性が期待されており、膨大な資金が投入されてきた。例えば、ある大手提携型プラットフォームの2018年資金調達額は40億人民元(650億円)に達した。業界の寡占化が進むことは、プラットフォームの新規参入の障壁になるのみならず、コンテンツの作成者に対しても提供価格の設定等において大きな影響を与える可能性をもつことになる。

業界としてこのような課題を抱えているものの、今後も生活環境や労働環境の変化に伴い、人々の学習意欲は高まって行くことが予想され、オンライン学習産業は長期に亘り拡大し続けるであろう。また、地方都市の所得が向上していくにつれ、現在それほど浸透していない地域においても徐々に利用者が広がることは確実だ。一層多様化するであろう利用者のニーズに応えるためにコンテンツを充実させ、同時に利用者ニーズに合致したコンテンツを効率的に提供する仕組み作りをすることが、プラットフォームの競争力向上、延いては市場規模の更なる拡大に繋がるものと思料する。

#### 【注釈】

為替換算率は2019年1月末のTTMを適用。(1元=16.25円)